



報道関係各位  
プレスリリース

2018年10月26日  
エアロセンス 株式会社

## 産業用ドローン向けクラウドサービス「エアロボクラウド」と 福井コンピュータ製測量 CAD システム「TREND-ONE」の連携を開始

エアロセンス株式会社（東京都文京区、代表取締役：谷口恒、以下エアロセンス）は、この度、産業用ドローンのための i-Construction 対応クラウドサービス AEROBO® Cloud（エアロボクラウド）と、福井コンピュータ株式会社（以下福井コンピュータ）製測量 CAD システム TREND-ONE（トレンドワン）との連携を開始しました。この連携は、エアロボクラウドにより作成される UAV 測量成果を TREND-ONE に入力できるようにするもので、エアロボクラウド、TREND-ONE を利用した UAV 測量成果の管理が容易となります。

※エアロボクラウドでは、全てのユーザーを対象に 10 月 29 日よりお使いいただけます。

エアロボクラウドとは、ウェブブラウザだけで使える測量や点検などのドローン業務をサポートするためのクラウドサービスで、大容量の撮影データやフライトの管理、点群や 3D メッシュを作成する写真測量処理など空撮画像処理が必要とされる一連のワークフローが簡単に実行できます。

エアロボクラウド: <https://aerobocloud.com>

TREND-ONE(トレンドワン)とは、全国の測量業においてベストセラーを誇る測量 CAD システム「BLUETREND」シリーズの後継として、2016 年にリリースされた 64bit 版の測量 CAD システムです。豊富な測量計算機能と、それに連動した CAD で、あらゆる測量業務に対応できます。

TREND-ONE: <https://const.fukuicompu.co.jp/products/trendone/index.html>

### エアロボクラウド から TREND-ONE への UAV 成果データ連携

国土交通省は、「ICT の全面的な活用(ICT 土工)」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図る施策、i-Construction を推進しています。i-Construction では、公共測量事業において UAV を用いた 3次元測量が一般化することが見込まれており、図面などの施工データは、3次元データとして管理されることが必要となります。

今回、エアロセンスと福井コンピュータは、エアロボクラウドで作成された UAV 成果データ(3次元点群解析情報)を TREND-ONE に取り込める機能を実現しました。これにより、エアロボクラウドで生成された UAV 成果データを TREND-ONE にて解析、管理し、i-Construction で求められる種々の帳票を出力することが可能となります。

以前より行っておりましたエアロボクラウドと TREND-POINT との圧縮点群によるシームレスで高速な連携と相まって、i-Construction で定義される一連のデータ生成、解析プロセスが、両社製品連携でより一層容易になり、測量業務の大幅な効率化を実現します。

TREND-POINT: <https://const.fukuicompu.co.jp/products/trendpoint/index.html>

